

# 景の園

## L a n d s c h a f t

白鳥庭園は名古屋市民の迎賓館として多くの方に親しんでいただき開園30周年を迎えました。その風景には「美」と「地域」といった二つの要素Landschaft/景観と言う概念が欠かせません。御嶽山を源とした木曾川が伊勢湾まで流れる様を見立てた「池泉回遊式日本庭園」公共の茶室「清羽亭」、この恵まれた景観を再認識し、より魅力的な景色を目指してまいります。是非、この観楓の機会に白鳥庭園の現在の「景」をご覧ください。

◎期間 **11/20** 土 ~ **12/12** 日

※毎週月曜日休園

◎開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)

紅葉ライトアップ開催日は、期間中の**金土日祝**

午前9時~午後8時(入園は午後7時30分まで)

※北門は午後5時で閉門

ライトアップ詳細は裏面

## 茶の景

庭と建物が一体となる「庭屋一如」を体現した数寄屋の「清羽亭」流れのほとりに建てられたこの茶室は、京都の数寄屋大工と尾張大工が技を競い力を合わせて造り上げました。この柔軟で懐の深い空間に、それぞれの流派が茶室飾りを披露します。

また汐入の庭には学生による屋外茶席が展示されます。



## 回遊茶室飾り

◎場所 清羽亭

◎時間 午前9時30分~午後4時30分

【第一節】

◎開催日

11月20日 土・21日 日・23日 火・木

◎席主

- 一の間.....水野明水(表千家)
- 二の間.....久田宗恭(裏千家)
- 澄蘆.....南原宗瑠(裏千家)
- 汲江軒.....安田一絵(表千家)
- 立礼席.....加藤宗典(裏千家)

◎拝見方法 当日予約制、各回入れ替え制(各回45分、定員30名)※呈茶はございません。

◎予約受付 当日午前9時より、芝生広場前イベント本部

※電話等での事前予約は受け付けません。 ※イベント期間内の当日以外の子約は受け付けられません。

【第二節】

◎開催日

11月27日 土・28日 日

◎席主

- 一の間・澄蘆.....水野 荘平 (御殿茶道松声会)
- 二の間・汲江軒.....綾小路 五山 (五山会)
- 立礼席.....岩崎康直(中国茶ロ・ザー)

## 景の園 限定茶席 曦蔭庵

茶席を設計するにあたり「狭い・暗い・堅い」の3要素をポジティブに構成し、茶道の厳格な雰囲気や誰でも体験できる茶席として実現しました。所作や心の在り方は体の動きと連動します。それらが影となって映し出される様子をお楽しみください。

◎展示期間 11月20日 土 ~ 12月12日 日

◎入室可能日時 11月20日 土・21日 日・23日 火・木・27日 土・28日 日

午前9時30分~午後4時30分

◎拝見方法 予約不要、入れ替え制(同時入室5名まで)※呈茶はございません。

◎場所 汐入の庭(茶室展示) 茶寮汐入(資料・模型展示)

◎監修 山吹設計工房 岩崎孝史

◎設計 トライデントデザイン専門学校

総合デザイン学科 インテリアデザインコース

◎施工 加藤建築株式会社



## 華の景

静寂の深山、切り立つ渓谷、緑の水郷地帯、川はやがてゆったりと広がり海へと続く。白鳥庭園の景色は、水の流れて木々や生き物が呼応し育っていきました。日本の伝統美と自然を高度に凝縮したこの庭園の姿を愛で、華で表現します。

## 競演華景色

◎期間 11月20日 土 ~ 28日 日

佳紅流.....綾小路 聖山

水明流.....水野 明水

草月流.....日本オーガニックフラワー協会 中島弘華

名古屋生花小売業協同組合



## 尾張名古屋の茶味甘味

数寄の文化は味に出る。五感で味わう白鳥庭園の景。

「好き数寄セット」

◎場所 茶寮汐入

◎開催日	和菓子	お茶
20日 土	川村屋	清寿園
21日 日	亀吉廣	清寿園
23日 火・木	一朶	清寿園
27日 土	不老園正光	妙香園
28日 日	亀屋芳広	妙香園

◎各日限定30セット 650円

※数に限りがあります。無くなり次第、終了となります。



※写真はイメージです。

## アートの景

『土地の歴史を生かした新しい現代の日本庭園を』

壮大な計画のもと作庭された白鳥庭園には、自然の保全とも一つ、名古屋の文化の拠り所という大きな役割があります。豊かな水の流れが豊潤な大地を育みまちを育てたように、伝統文化と新しい文化の交流・発信の場として、これからもまちと共にあります。

## アート展示

水の流れ、伝説、宇宙、物語は庭の至る所にあります。匠たちのこだわりアーティストが応えます。

◎期間 11月20日 土 ~ 12月12日 日



中田ナオト

私たちは無い物ねだりで、この庭園のようにいつもと違う特別なシーンに憧れを抱いてしまう。中田は、日常生活に欠かせない自然エレメントに着目しながら、庭園に溶け込む/目立つの仕掛けによって馴染ませる。これらの仕掛けは、この場所ではしか実現しえない新しい庭の眺めとともに、何気なく過ごす日常に発見と疑問をもたらす、美について思いを巡らすためのデバイスである。

2016 『中田ナオト-出会いとひらめきの信楽時間』(滋賀県立陶芸の森陶芸館ギャラリー/滋賀)

2018 『種子島宇宙芸術祭』(種子島/鹿児島)

2019 『第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ』(瀬戸市美術館/愛知)

2020 中田ナオト展『プレイランド!』(ギャラリー数寄/愛知)



ニシテツロウ

水琴窟が最初に楽しまれた江戸時代には、現在と異なり静かなサウンドスケープが広がっていた。そのため、地面近くにまで耳を寄せなくても水琴窟の音は聴こえたかもしれない。白鳥庭園の水琴窟は珍しく大きさの異なるものが3つ並んでいる。ニシは、これらの音を使って普遍的なアンサンブルを試みる。時に地中の生音も干渉して、興味深い音場空間が作られるだろう。

1986 地上絵制作(オーストラリア、エアーズロック付近・CAMEL&MMC)

2005 コヤン現代美術祭 "time-motion"/light&sound installation(イルサンレイクギャラリー/韓国)

2018 "空蟬"utsusemi/参加型サウンドインスタレーション「足助の芸術界隈」(足助ゴエンナーレ/豊田市)

2019 "counterpoint"/light&sound installation「異界庭園」(白鳥庭園/名古屋市) その他、個展、サウンドパフォーマンス、ライブ等多数。



赤塚剛

間も無く白鳥庭園は落葉樹も色づき美しさもピークを迎えるだろう。私たちは長く伸びた影や池に写る紅葉から、習慣のように秋の深まりを感じる。庭師である赤塚は、植物を中心とした有機的素材を使用しもうひとつの景色を造り、自然が生み出すフォルムで遊びや驚きを感じられる空間表現を目指す。

2018 『Toyota Rock Festival 2018/ステージ』(豊田スタジアム/豊田市)

2019 『木魅(こだま)』 異界庭園(白鳥庭園/名古屋市)

2019 『FieldStyle2019/装飾』(AICHI SKY EXPO/名古屋市)

2020 『FieldStyle2020/フオトスポット』(AICHI SKY EXPO/名古屋市)

## ランドシャフトツアー Landscape Tours

紅葉を楽しみながら庭園内を巡り、展示作品や華のしつらえを通して景観の豊かさや魅力を自ら見つけていただくお手伝いをします。

◎開催日 11月20日 土・21日 日・23日 火・木・27日 土・28日 日

◎時間 各日午前11時~、午後1時~、午後3時~

◎所要時間 約1時間

◎協力 コスモスコミュニケーションズ

◎参加方法 当日予約制(各回定員10名)

◎予約受付 当日午前9時より、芝生広場前イベント本部

※電話等での事前予約は受け付けません。

※イベント期間内の当日以外の子約は受け付けられません。



## 新型コロナウイルス感染症に対するお客様へのお願い

園内での密接・密集を避けるため、入園制限を行っております。すぐに園内へ入ることができず、お待ちいただくことがあります。マスクの着用をお願いしております。また、発熱やせきなどの症状がある方や、体調がすぐれない方はご来園をお控えください。最小人数でのご来園のご協力をお願いいたします。園内では間隔をあけてお楽しみください。